

# 発話・談話展開の足場づくり と学習志向評価

長沼 君主(東海大学)

上智大学・ベネッセ英語教育シンポジウム2015

■ 独立的な力？ 統合的な力？ (independent vs. integrated)

- ・対人 (interpersonal) / 発表 (presentation) / 解釈 (interpretation) モード

■ 統一した力？ 観点別の力？ (holistic[unified] vs. analytic)

- ・正確さ (accuracy) / 流ちょうさ (fluency) / 複雑さ (complexity) のトレードオフ

\* 複雑さ (complexity) → 正確さ (accuracy) → 流ちょうさ (fluency) と発達

■ 情報伝達？ 関係構築のため？ (transactional vs. relational)

- ・言語能力 (linguistic competence)
- ・談話能力 (discourse competence) : 談話・会話方略
- ・方略能力 (strategic competence) : 補償と産出
- ・社会言語能力 (sociolinguistic competence) : 語用論  
→ ラポール・マネジメント\* (rapport management) : 共感 → 論理

・inquiry  
(問いを浮かべる)  
・initiation  
(発話を切り出す)

- ・心理言語能力 (psycholinguistic competence)\*\* : 自動化 → 認知的流暢性 (同時処理)

\* 『異文化理解の語用論—理論と実践』(スペンサー=オーティ、2004)

\*\* 『シャドーイング・音読と英語コミュニケーションの科学』(門田、2015)

## ■ 話し手のための方略

- ・1回に1文だけではなく2文以上話す(関連情報、理由、具体例・・・)
- ・相手に質問をする→WH-⇒Yes/No、例示、パラフレーズなどで回答を引き出す
- ・発言権を取ったり、保持する(ターン・テイキング)⇔発言権(話題)を振る
- ・自分の発言をモニターして伝わらなかつたら別の方略を試す
- ・うまく言えないことを別の表現で述べる(言いかえ・例示・・・)⇔話題を回避する

## ■ 聞き手のための方略

- ・相づちを打ったり、相手の発話を繰り返すなどのリアクションを入れる
- ・分からないことやもっと知りたいことを具体的に質問する
- ・理解的できないことを言ったり、理解していることを示す
- ・分からない時に繰り返してもらったり、詳しい説明を求める
- ・相手の言ったことを部分的に繰り返して、意図を確認する

・transactional?  
(課題解決的やり取り)  
・relational?  
(雑談的やり取り)

interaction(dialogue)→  
production(monologue)  
→essay writing→peer  
reading: 技能統合型活動

クイックレスポンス② 朝について

... → □ 分

では、続けて朝に関するトークです。P.22 と同じステップで答えてみましょう。

会話  
テクニック

- ① 2文以上で返す…… まず一言を答えて、補足する文をつけてみよう。
- ② 相手に質問する…… 相手に質問をなげて会話を続けよう。

STEP 1 SAMPLE TALK

028

同僚からあなたの朝の様子について聞かれます。

① Good morning. おはよう。	Good morning. おはよう。
② You are always on time. Are you a morning person? いつも時間どおりですね。朝型ですか?	① I guess so. I don't like to rush in the morning. そうかもしれませんが、朝ドタバタするのが嫌いなもので。
③ Me neither. But I'm always short of time. Well, what time did you wake up today? 私もですよ。でもいつも時間が足りないんです。ところで今日は何時に起きましたか。	Around 6:30. 8時半くらいです。
④ That's early! Do you wake up at that time every morning? それは早いですね、毎朝その時間に起きるのですか。	No. Only on weekdays. いえ、平日だけです。
⑤ I thought so. For breakfast, are you a bread person or a rice person? そうですね。朝はご飯を食べますか、それともパンを食べますか。	Recently I eat rice a lot. ② How about you? 最近をよくご飯を食べます。あなたは?
⑥ I'm always a bread person. It's easy and quick. What do you eat rice with? 私は常にパン派です。簡単で手早く済みます。ご飯のおかずは何を食べるのですか?	① I have to have a dried plum. I always eat one in the morning. 梅干しはかかせません。朝、必ずひとつ食べるんです。
⑦ Wow. What else? What did you have today? おお。ほかには? 今朝は何を食べましたか?	① I had salmon and miso soup. It was delicious. 今朝はシャケとお味噌汁をいただきました。おいしかったです。

STEP 1 SAMPLE TALK を聞く。

STEP 2 自分の回答を言ってみる。

STEP 2 実際のやりとり

029

問いかけ

あなたの解答 (回答例)

① Good morning. おはよう。	Good morning. おはよう。
② You always look well in the morning. Are you a morning person? いつも朝から元気ですよ。朝型ですか?	+ 2文返し No. But the kids wake me up. (そうではないんですが、子どもに起こされるんですよ) / I think so. I like morning better than night. (そうですね。夜より朝のほうが好きです)
③ I see. What time did you wake up today? そうですか。今日は何時に起きましたか。	About 7 o'clock. (7時ごろです)
④ Do you wake up at that time every morning? 毎朝その時間に起きるのですか。	Yeah, usually at that time. (そうですね。たいていこのくらいの時間です) / No. It depends. (いえ。その日によります)
⑤ Ah, well... for breakfast, are you a bread person or a rice person? わかりました。朝はご飯派ですか、パン派ですか。	+ 相手に聞き返す Sometimes rice, sometimes bread. Do you prefer bread? (時々ご飯で、時々パンです。あなたはパンのほうが好きですか?)
⑥ I eat both. But I have to have coffee. How about you? What do you drink? どちらも食べますよ。でもコーヒーは欠かせないんです。あなたは? 何を飲みますか?	+ 2文返し I drink coffee, too. I also like to have tea. (私もコーヒーを飲みます。紅茶も好きです) / It depends. I drink coffee, green tea, milk and so on. (その時によりますね。コーヒー、緑茶、牛乳などを飲みますよ)
⑦ I see. What did you have today? わかりました。今日は何を食べましたか。	I had bread with strawberry jam and ham and eggs. And I had tea. (苺ジャムを塗ったパンとハムエッグを食べました。それから紅茶を飲みました)

discourse/conversational strategies  
談話・会話方略

\* Act in Englishシリーズ: 声に出す! スピーキング基礎コース(コスモピア)より

上智大学・ベネッセ英語教育シンポジウム2015

## 到達目標型／総括的Can-Do評価 … 評価と指導の一体化

到達目標設定 → パフォーマンス評価 → 指導改善  
prescriptive presentation + practice + production

パフォーマンス評価に基づく観点別評価(評定)  
…「できたことを確認する教師のための評価」

## 熟達目標型／形成的Can-Do評価 … 評価と学習の一体化

パフォーマンス記述 → モニタリング評価 → 目標設定(調整)  
descriptive presentation + processing + production

「足場作り」(scaffolding)とダイナミック・テスト  
…「できるようになりつつことの学習志向評価」

学習志向評価とは？  
learning oriented assessment

# CEFRスピーキング評価ルーブリック

## oral assessment criteria grid

		使用領域	正確さ		流暢さ	やりとり	一貫性	
基礎的使用者	Breakthroughレベル	A1	個人的な事柄や特定の具体的な状況に関連する単語や簡単な語句の非常に基本的なレパートリーがある。	いくつかの簡単な文法構造や暗記した基本的な構文を、ごく限定的に使える。		言葉を探したり、それほどなじみのない単語を言ったり、言い直しをするのに、かなり間は空くけれども、非常に短く独立した、主に定型的な発話をなんとか行うことができる。	個人的な事柄について質問をしたり、質問に答えることができる。簡単な方法でやりとりができるが、コミュニケーションは全体的に繰り返し、言い換え、言い直しに頼っている。	"and"「そして」や"then"「それから」のようなとても基本的な順接の接続詞を用いて、単語や語句を結びつけることができる。
	Waystageレベル	A2	単純な日常的な状況で、限定された情報をやりとりするために、暗記した語句や定型表現を用いて、基本的な構文を使っている。	単純な構文で正しく使えるものもあるが、まだ系統的におおきく基本的な間違いがある。		間や話し始めのつまずきがあったり、言い直したりすることが非常に顕著だけれども、とても短い発話であれば、相手に言っていることを理解してもらうことができる。	質問をしたり、質問に答えたり、簡単な発言に返答できる。自分が相手の話についていることを相手にわかってもらうことができるが、自分から会話を続けることができるほど十分に理解できることはまれである。	"and"「そして」や"but"「しかし」、"because"「なぜならば」のような簡単な接続詞を用いて、語句を結びつけることができる。
		A2+	概して言いたいことを妥協したり、言葉を探さなくてはならないけれども、なじみのある状況や話題に関する日常的な生活上の決まりきったやりとりをするのに十分な語彙力がある。	記述なし。		非常に目立つ言いよどみや話し始めのつまずきはあるけれども、練習して記憶した簡単な語句を、特定の状況にあてはめて使うことが容易であり、それほど労力を要することなく、短い決まりきったやりとりをこなすことができる。	個人的に関心のある話題や、娯楽、過去に参加した活動について、質問をしたり質問に答えたりして、簡単に限定的な対面での会話を始めたり、続けたり、終わらせることができる。何らかの助けがあれば、決まった状況で比較的容易にやりとりをすることができる。しかし、自由な議論に参加することはかなり限定される。	部分々部分を単純に列挙して描写したり、話を行うために、最も頻出するつなぎ言葉を使って簡単な文をつなげることができる。
自立的使用者	Thresholdレベル	B1	まだ少し言いよどみや回りくどい表現はあるものの、家族、趣味、関心事、仕事、旅行や最近の出来事について、言いたいことが表現できる十分な語彙を持ち、何とかやっていく語力がある。	日常的に頻繁に使われる表現のレパートリーや、予想しやすい状況と関連づけられた定型的な表現を、かなり正確に使うことができる。		比較的に長い自由な発話においては特に、文法や語彙の事前の組み立てをしようとして、言い間違いを修正しようとして間が生じたりすることが、かなり顕著にはあるものの、理解が可能な発話を続けることができる。	身近な話題や個人的な関心がある話題に関する簡単な対面での会話を、始めたり、続けたり、終わらせることができる。相互の理解を確認するために、誰かが言ったことを、繰り返し言うことができる。	一連の短めでバラバラの単純な部分的発話を結びつけ、つながりをもって順に並べることができる。

『英語スピーキングに強くなる』(多聴多読マガジン2015年4月号別冊、コスモピア)より

# CEFRスピーキング評価ルーブリック

## oral assessment criteria grid

		使用領域	正確さ		流暢さ	やりとり	一貫性	
自立的使用者	Thresholdレベル	B1+	予期せぬ状況を描写したり、十分に正確に考えや問題の主要な点を説明したり、抽象的な話題や、音楽や映画のような文化的な話題を表現するに十分な言語の幅がある。	馴染みのある文脈においては、十分に正確な意思の疎通を行い、母語の影響は目立つが、総じてうまく使えている。		比較的容易に言いたいこと表現することができる。言葉を形にするのに若干問題があり、間があったり、行き詰ったりするけれども、手助けがなくても効果的に話を続けることができる。	会話や議論を続けるためのストラテジーの基本的なレパートリーを活用することができる。議論において相手の見解に簡単なコメントをすることができる。詳細な情報を確認するのに口をはさむことができる。	記述なし。
	Vantageレベル	B2	特に明らかには言葉を探さなくても、複雑な文を用いて、明確な描写をしたり、一般的な話題であれば、ほとんどについて意見を表明することができる十分な言語の幅をもっている。	比較的高度な文法力がある。誤解を生じる誤りはおかさず、間違いのほとんどを修正することができる。		構文や表現を探して、言いよどむことがあるけれども、ほとんど目立った長い間をとらずに、かなり一定のテンポで長く話を続けることができる。	いつもスマートにいくとは限らないが、談話を始め、適切な時に発言をして、必要な時に会話を終わらせることができる。慣れ親しんだ分野であれば、理解を確認したり、ほかの人も促したりしながら、議論の進行に寄与することができる。	長く話していくと話の飛躍がでてくることもあるが、限られた数の接続表現を使い、自分の発言をつなげて、明確で一貫性のある談話へとしていくことができる。
		B2+	言いたいことを制限せざるをえないという感じはほとんど与えずに、明確に自分の考えを言い表すことができる。	文法的に正確に発話をコントロールする力があり、時折、言い損ないや、文構造に系統的でない誤りや些細な間違いが起こるかも知れないがまれであって、選んで訂正されることもよくある。		発話が比較的長く複雑な場合でも、しばしば非常に流暢で無理なく表現し、自発的にコミュニケーションができる。語彙や構文知識の不足があってもそれを補うために、回りくどい表現や言い換えを使うことができる。	さまざまな言葉を適切に駆使し、自分の発言をほかの参加者の発言に関連させながら、議論に適切に口をはさむことができる。	考えの間の関係を明確にするために、さまざまな種類のつなぎ言葉を効果的に使うことができる。
熟達的使用者	Effective Operational Proficiencyレベル	C1	言いたいことを制限する必要がなく、一般的な話題、アカデミックな話題、専門な話題、娯楽といった広い話題について、適切な文体で明確に表現する型を選択できるほど、幅広い範囲で言葉を駆使できる。	文法的な正確さを高いレベルで維持でき、誤りはまれで気づくのが難しく、誤りの際には大抵は訂正ができる。		ほとんど努力しなくても流暢に自発的に話すことができ、概念的に難しい話題においてのみ、自然でスムーズな発話の流れが妨げられる。	すぐに利用できる談話機能の中から、適切な語句を選んで使い、自話を切り出し、続けることができるとともに、他の人の発言に上手に関連させて話を進めることができる。	構成パターン、接続表現、談話標識を使いこなし、明確でスムーズな流れできちんと構成されたスピーチをすることができる。
		C2	意味の細かいニュアンスを正確に伝えたり、強調したり、差別化したり、曖昧さを排除するために、異なる言い方をして非常に柔軟に言い換えて考えを示すことができる。また、イデオム表現や口語表現も使いこなすことができる。	たとえば、先を考えたり、他の人の反応をうかがうなど他のことに注意を払っていても、複雑な文法を一貫して使いこなし続けることができる。		自然な口語的な流れの会話を、長々と自発的に続けることができ、難しい部分を避けたり、元に戻って話すことが非常にスムーズに行われるため、相手はそれにほとんど気づかない。	明らかに意識をしなくても、非言語的またはイントネーション上の合図に反応したり、用いたりしながら、たやすく上手にやりとりをすることができる。発話の交替も完全に自然に行い、前の人の発言に言及したり、示唆したりしながら、自分の発言を談話に共同的に組み込んでいくことができる。	さまざまな種類の構成パターンや、広い範囲のつなぎ言葉やそのほかの接続表現を、十分にかつ適切に活用して、一貫してつながりのある談話を作っていくことができる。

商品・サービスを得るためのやりとり	
A2	<ul style="list-style-type: none"> <li>店、郵便局、駅で簡単なやりとりができ、食べ物や飲み物を注文することができる。</li> <li>直接あるいは電話で、客に対して時間や日にち、量、値段といった基本的な情報を提供することができる。</li> <li>目的地までの経路、ホテルの予約、医者へ行く、といった簡単な実際の情報を得ることができる。</li> <li>店や喫茶店など、通常の旅行で想定される状況に対応できる簡単な表現を使うことができる。</li> <li>バスや電車、タクシーなど公共交通機関を使うことができる。また基本的な情報を質問したり、切符を購入することができる。</li> <li>何がほしいか伝えることができ、店や郵便局で値段を尋ねることができる。</li> </ul>
B1	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話調査、返金を求める、購入時の交渉など日常の状況において実用的なことができる。</li> <li>面と向かって、あるいは電話で自分の研究分野に関するたいのみの議論をこなすことができる。</li> <li>歯医者へ行く、自転車を修理してもらおうといった休日に起こりうる予期せぬ出来事に対応することができる。</li> <li>代理店を通して旅行の予約をしたり、実際に旅行しているときに起こりうるほとんどの出来事に対応することができる。</li> </ul>
B2	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通違反の不当な呼び出し状、アパートでの損害に対する金銭的責任、事故に関する責任のような争いの解決のためにうまく交渉の話し合いができる。</li> <li>補償案件の外観を述べ、満足が得られるような説得力のある言葉遣いがあり、こちらの譲歩の限界をはっきりと表明することができる。</li> </ul>
一定時間一人で行う発話：経験について語る	
A2	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来事を簡単に描写したり、簡単な話を伝えることができる。</li> <li>自分自身や家族、知人を説明することができる。</li> <li>場所や物を簡単に説明することができる。</li> <li>訪問者に対して、自分がどういう訓練を受けてきたかや仕事の内容を簡単に説明することができる。</li> <li>自分の教育的な背景や専門分野を説明することができる。</li> <li>自分の趣味や興味のあることを簡単に説明することができる。</li> </ul>
B1	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段家ですることや学校ですること、余暇することを伝えることができる。</li> <li>学問的背景や現在のもしくは直近の仕事の説明することができる。</li> <li>通っている学校や現在の教育環境、もしくは現在の仕事について話をするすることができる。</li> <li>自分がしたことの重要な点を伝えることができる。</li> <li>先週末の出来事、直近の休日の出来事など過去の活動や経験を説明することができる。</li> <li>計画や取り決め、代替案を説明することができる。</li> <li>普段することを説明することができる。</li> <li>物事を簡単に描写し比較することができる。</li> <li>自分の好き嫌いを説明することができる。</li> </ul>
B2	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験、感想、夢、希望や抱負、実際の、想像上もしくは予想もしない出来事を説明することができる。</li> <li>物語を伝えたり映画や本の筋を伝えることができる。</li> <li>装置や機械の使い方を簡単に説明することができる。</li> <li>関心事や専門とする学問などに関係した様々な馴染みのある話題についてわかりやすく説明することができる。</li> <li>感情や反応などにも触れながら、自分の経験について詳細に説明することができる。</li> <li>本や映画の筋を述べて、自分の反応を説明することができる。</li> <li>本や映画の筋を述べて、自分の意見を伝えることができる。</li> <li>本やテレビで起こった出来事を伝えることができる。</li> <li>夢や希望、抱負を説明することができる。</li> <li>物語を伝えることができる。</li> </ul>

一定時間一人で行う発話：(ディベートなどでの論述)	
B1	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画や意図、行動の説明や理由付けができる。</li> <li>意見や計画、行動について説明や理由付けが手短かにできる。</li> <li>ほとんど困難なしに議論についてこられるよう話を展開することができる。</li> </ul>
B2	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを論理的につなげ、適切な例を用いて自分の考えを広げたり支持しながら、はっきりと一貫した議論を展開できる。</li> <li>考えを論理的につなげ、筋の通っている議論をすることができる。</li> <li>さまざまな意見の利点と欠点を挙げながら話題に関する考えを説明することができる。</li> </ul>
聴衆への呼びかけ	
A2	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の学問的あるいは専門的分野におけるなじみのある話題に関して、練習すれば短いプレゼンテーションをすることができる。</li> </ul>
B1	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備時間があれば、同僚や職場、会社組織を紹介し、職場の案内ができる。</li> <li>一語一語練習しなくても、準備しておいた短いプレゼンテーションができ、わかりやすい質問に答えることができる。</li> <li>自分の分野におけるなじみのある話題に関して、はっきりと正確に、聞き手が困難なくほとんどついていくことができ、かつ重要な点が理解されるよう、準備しておいたプレゼンテーションを簡単にすることができる。</li> <li>十分はっきりと、簡潔に自分の専門分野における話題に関する準備しておいたプレゼンテーションを短くわかりやすくすることができる。</li> <li>十分はっきりと、個人的な話題もしくは決められた文学作品に関する短くわかりやすい準備しておいたプレゼンテーションができる。</li> </ul>
B2	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要な点や関連した詳細を強調して、自分の専門分野の話題に関するプレゼンテーションをはっきりかつきっちりとすることができる。</li> <li>準備しておいたテキストから自然に離れて聴衆から挙げられた点を付け加えることができる。</li> </ul>

■ やりとり (Spoken Interaction)

- ・ネイティブの相手の発話の理解・会話
- ・友人とのインフォーマルな話し合い・会議でのフォーマルな議論
- ・目的達成のための共同作業 (車の修理、文書の検討、イベントの組織など)
- ・商品・サービスを得るためのやりとり

- ・情報交換
- ・面接のやりとり

■ 方略 (communication strategies)

- ・ターンテイキング
- ・協力
- ・明確化要求
- ・計画
- ・補償
- ・モニターと修復

■ 発表 (spoken production)

- ・持続的発話：経験描写
- ・持続的発話：論述 (ディベートなど)
- ・公共の場でのアナウンス
- ・聴衆への呼びかけ



「授業中にペアワークで日常的な話題に関して短い会話をする事ができる。」

- 1. 相手の話を聞いていただけで、会話に参加するのが難しい。
  - 2. なんとか会話に参加し、自分も発言をすることができる。
  - 3. 積極的に発言をし、相手の発言に質問やコメントをしたり、発言を返したりできる。
  - 4. 相手から発言を引き出し、会話をまとめたり、流れを整理したりすることができる。
- \* 授業中にグループワークで、数人で会話やディスカッションができる。

「授業中にペアワークの会話で相手の発言が分からない時に聞き返しができる。」

- 1. 相手の発言が分からない時にも、聞き返しをするのが難しい。
  - 2. 相手の発言に割り込んで、発言の繰り返しを求めることができる。
  - 3. 相手の発言のどこが分からなかったのか、具体的に質問をすることができる。
  - 4. 相手の発言に対して、自分なりの理解を示した上で、発言の意図を尋ねることができる。
- \* 授業中にペアやグループワークで、相手の発言が分からない時に聞き返しができる。

「授業中にペアワークの会話で相手の発言にコメントをすることができる。」

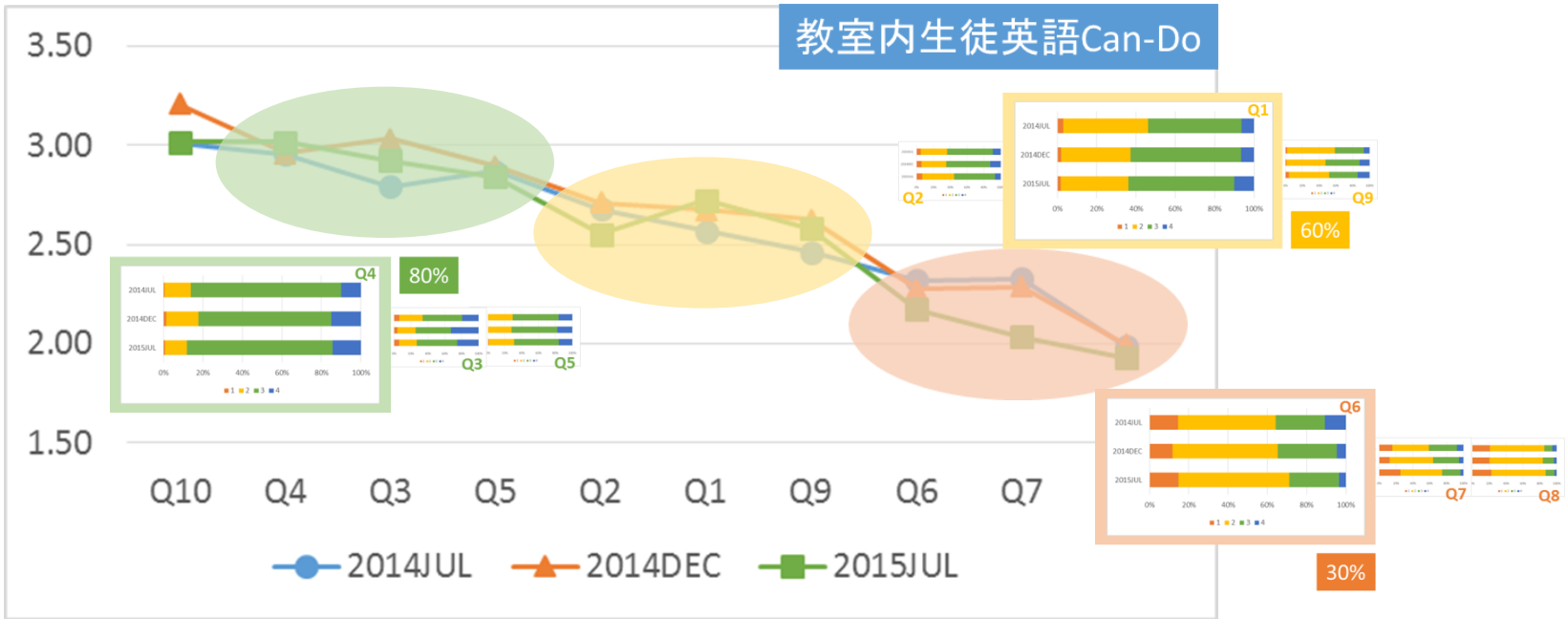
- 1. 決まり文句的なコメントや相づち以上のコメントを言うことが難しい。
  - 2. 内容に関して、短いコメントや質問などをすることができる。
  - 3. 内容を踏まえて、自分の意見や感想など、長めのコメントを述べる事ができる。
  - 4. 内容を引用したり、整理したりしながら、自分の意見を交えてコメントをすることができる。
- \* 授業中に人の発表を聞いたり、作文を読んだりして、コメントをすることができる。

\* 「教室内生徒英語尺度」より改編(中田科研2014-2016)

上智大学・ベネッセ英語教育シ

- ①「自信がなくまだ難しいまたは自分にはできないと感じている段階」
- ②「自信があまりない学習者でも何らかの足場があればまたは部分的にならできる段階」
- ③「多くの学習者が十全に参加すれば達成可能なクラスでの到達目標となる段階」
- ④「自信のある学習者を飽きさせないような次へ目標となる挑戦的課題を設けた段階」

# 教室内生徒英語Can-Do



- Q10. 授業中に先生がクラス全体に対して話している英語は・・・
- Q4. 教科書を読んで、教科書の本文の欄外に書かれた質問に答えることができる。
- Q3. 教科書を読んで、口頭で内容に関する質問に答えることができる。
- Q5. 教科書を読んで、本文の流れを踏まえて内容を理解し、質問に答えることができる。
- Q2. 先生からの質問に対する回答で、英語の誤りを指摘されて、言い直すことができる。
- Q1. 先生からの質問に、簡単な言い換えなしでも、質問に英語で答えることができる。
- Q9. 授業中に先生が話す英語を聞いて理解できる。
- Q6. 授業中にペアワークやグループワークで、会話やディスカッションができる。
- Q7. 授業中にペアワークやグループワークで、相手の発言が分からない時に聞き返しができ
- Q8. 授業中に人の発表を聞いたり、作文を読んだりして、コメントをすることができる。

発問

応答

談話

談話方略を促す評価と教室内教師英語の在り方は？

談話的やり取りCan-Do尺度比較  
discourse competence can-do scales

\* JASELE2015(長沼・永末)より